

横浜三塔

横浜には開港の頃に建てられた3つの歴史的な塔があります。それらは横浜三塔と呼ばれ、それぞれにニックネームがついています。



King 塔の高さ: 48.60m 1928(S3)竣工
日本大通に面し、五重塔をイメージさせる帝冠様式で、どっしりと構える風格はまさに王様。



Queen 塔の高さ: 51.46m 1934(S9)竣工
女王らしい優美で気品のある緑青色のドームが特徴で、ロマネスクなど洋風建築様式が混在。



Jack 塔の高さ: 36m 1917(T6)竣工
赤レンガと白い大理石の組合せが美しい時計塔を持つ建物は、市民の寄付で建てられた。



案内図

■アクセス情報■

- 横浜駅東口バス乗り場から26系統バス「横浜税関前」下車徒歩1分
- みなと未来線日本大通り駅下車徒歩3分
- J R 京浜東北線。市営地下鉄関内駅下車徒歩15分



資料展示室スタンプラリー

この資料展示室内のいろいろな場所にカスタム君のスタンプがあります。見つけたら下の白枠に押してください。

※ 順番(白枠内の番号)は関係ありません。

①	②
③	④
⑤	⑥

6種類ある
ボクのスタンプを
全部探してね!



税関イメージキャラクター
カスタム君

横浜税関資料展示室
クイーンの広場
開館時間 10時～16時
(5月～9月は10時～17時)
休館日 年末年始、施設点検日

〒231-8401 横浜市中区海岸通1-1
横浜税関 税関広報聴室
TEL 045-212-6053
FAX 045-212-5535

横浜税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/yokohama/>
メールアドレス yok-zeikan@customs.go.jp

Yokohama Customs Museum



横浜税関資料展示室「クイーンの広場」

横浜税関ホームページ
<http://www.customs.go.jp/yokohama/>



クイーンのひろば



1 横浜港の建築物とクイーンの間

赤レンガ倉庫など横浜港周辺の建物や、横浜税関本庁舎（クイーンの間）の歴史と建築デザインを紹介しています。



2 横浜開港と横浜税関のはじまり

横浜港が開港し、外国と貿易をはじめた時から税関の役割とその重要性は変わっていません。



3 歴史を飾った税関長

歴代の税関長の中には、日本近代史に名を残すような、傑出した人物がいました。その代表的な5人を紹介しています。



4 税関庁舎は港のシンボル

税関庁舎は昔も今も横浜港のシンボルになっています。初代から三代（現在）にわたる庁舎の移り変わりを紹介しています。



5 横浜港と横浜税関のあゆみ

横浜港と横浜税関の変遷（あゆみ）について、開港から近代までをグラフィック年表で紹介しています。



6 横浜港と貿易立国・日本

横浜港は何を輸出し、輸入していたかを、開港当時から近代までの変遷をグラフィック年表で紹介しています。



7 暮らしを守る税関

国民生活の安全・安心を守るための広範囲にわたる税関の仕事。昭和30年代と近代の写真で比べています。



8 社会悪は通さない（密輸の手口）

税関では覚醒剤、麻薬、銃器等の社会悪物品の密輸を水際で阻止するため、先端技術を導入した様々な検査機器を活用した取締りを行っています。



New Corner 税関おしごと体験コーナー

2018年のリニューアルで新しくできたコーナーです。このコーナーでは、税関の職場で活躍している麻薬探知犬や、ファイバースコープ、金属探知機などを使用した検査の体験をすることができます。



ファイバースコープ体験
すきまの奥に何が？



金属探知機体験
金やけん銃をみのがすな！

● 音声ガイド（2018新規設置）

展示コーナーの説明を4カ国語（日・英・中・韓）で聞くことができます。

9 迅速通関

税関では、貿易の円滑化の一環として、NACCS（通関情報処理システム）を導入し、輸出入を許可するまでにかかる時間の短縮化等に取り組んでいます。



10 知的財産

ニセブランドや海賊版などの知的財産を侵害する品物を輸出入することは禁じられています。税関は水際でその権利を守るという重要な役割を担っています。



11 ワシントン条約

絶滅の恐れのある野生動植物を保護するために生まれたのがワシントン条約（CITES）です。税関は条約に該当する動植物（製品を含む。）の国際的取引を取り締まっています。



12 キッズコーナー

子どもたちがパネルクイズやぬりえを楽しんで税関について学ぶことができます。このコーナーです。

